

公益財団法人 上伊那教育会 第5回 総会

期日：令和4年3月3日（木） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 信濃教育会第25回教育研究論文教育実践賞贈賞式
及び 研修会
- 4 報告
 - (1) 信濃教育会第6回常任委員会（書面にて報告）
 - (2) 信濃教育会臨時総会（書面にて報告）
- 5 議事
 - (1) 第1号議案「令和4年度上伊那教育会事業計画（案）」
の承認に関する件
 - (2) 第2号議案「令和4年度上伊那教育会収支予算書（案）」
の承認に関する件
 - (3) 第3号議案「令和4年度上伊那教育会資金調達及び設備
投資の見込み（案）」の承認に関する件
- 6 諸連絡
 - (1) 「令和3年度 研究調査部研究のまとめ」について
 - (2) 令和4年度教育会新規加入・リーフレットについて
 - (3) 令和4年度教育関係年間計画について
 - (4) 令和4年度教育会各種委員会推薦について
 - (5) 令和4年度役員選挙について
 - 役員等候補選出委員の確認
 - 年度当初の選挙事務について
 - (6) 令和4年度教科等教育研究会加入について
- 7 議長退任挨拶
- 8 閉会の言葉



まん延防止等重点措置の適用中のため、感染予防対策として、総会は各地区代表の代議員（3名）が参加し、執り行いました。

総会の様子は、オブザーバーとして参加した各校の代議員へオンライン配信しました。



原文章会長 挨拶

各学校では、今年度のまとめと次年度の計画を練っているところだと思います。教育会も、各種委員会の委員選出をはじめ次年度に向けて動き始めています。委員の選出については、昨年度自己推薦者が44名とかつてない多さとなり、先生方の前向きなお気持ちを強く感じたところでした。ところが、今年度はその数を大きく超えて56名もの先生方が自ら手を挙げてくださいました。実に全委員の4分の1になります。昨年44名の先生方が手を挙げていただいた後、私が一番思ったことは、意欲に満ちた先生方が大勢いらっしゃるこのうれしさ、と同時にそういう先生方が1年間の活動を終えられた時、委員をやってよかったと思っただけのような活動にしなければいけないということでした。先日各校に配布させていただいた「研究調査部 研究のまとめ」をご覧になっていただけたでしょうか。そこには、今年度新たに各委員のまとめの感想を載せていただきました。ほとんどの先生方が意欲的に委員会の活動に携わり、様々に学んだ様子が述べられていました。それを読んだとき、私は心からうれしく思うと同時に、委員会ごと本当によくがんばってくださってありがたかったなと思いました。来年度もぜひ今年同様に、いえ今年以上に委員の先生方にとってやりがいのある、学びの多い委員会活動にさせていただきたいと思います。

今年度は上伊那教育会が公益社団法人になって10年の節目を迎えた年でした。「改革・前進～『つながり、学び合い、自分を磨く』を続けるために～」をテーマに掲げ、コロナ禍という未知の状況の中、これまでにない工夫や新たな方法で教育会事業を進めて参りました。特に、昨年度末に行った組織改革を軌道に乗せる最初の重要な1年でした。

総研修会「仰望の日」をはじめ、人権教育講演会や授業研修会、郷土研究部発表会などいくつかの主要な行事をオンラインで開催したこと、県外教育関係機関研修を日帰りによる県内研修にしたこと、「教育課程研究調査事業」の教科等委員会を研究に軸足を移して取り組み始めたこと、文学講演会と授業研修会を会員が参加しやすいように平日開催にしたこと、「信州教師塾B」など信濃教育会との共催による新たな研修事業を始めたことなど、コロナ禍であってもできる限り教育会事業を止めない、先生方の研修を止めないという気持ちでやって参りました。そして、最後の最後に、上伊那の先生方の日ごろの実践の確かさが評価される出来事がありました。信濃教育会「教育研究論文・教育実践賞」でグループの部と個人の部で多数の受賞があったことです。グループの部では、東部中学校研究調査委員会が特選に、川島小学校研究部会が準特選に、伊那小学校3学年が入選にそれぞれ輝きました。また、個人の部では箕輪中学校の藤井篤徳先生が準特選に、伊那小学校の原宏典先生が入選に輝きました。正に快挙と言えます。これだけの受賞は上伊那教育会始めて以来です。受賞の多さもさることながら、応募総数において上伊那は31本と県下でダントツ1位だったことが、本当に素晴らしいことだと私は思います。これは、上伊那の先生方の日々の研究の積み重ねの賜物であり、上伊那の先生方の底力が示されたものだと思います。

今年度の上伊那教育会の取り組みと成果を述べてきましたが、もちろん課題も残されています。とりわけ、大きな課題は、今後も毎年多くの教職員の皆さんに教育会に入っただけなのか、ということ。そのことは、会員にとって充実した研修を財政面で担保することでもあります。もう1つ、郷土研究部の専門委員会にあまり若い先生が入っただけでないという、会の存続に関わる重大な課題があります。

教育会は私たち教職員にとってやはり必要な組織であり、教職員がつながりあい、学び合っ、自分を磨いていくためには優れたシステムです。今後も、上伊那で働く教職員が教育会に集い、様々な事業・研修に参加することで、つながり、学び合い、自分を磨いていくことができるような魅力ある教育会を、ぜひ皆さんで作っていきましょうではありませんか。そのことが、一番の、そして唯一の解決策ではないかと私は思います。

今年度、コロナ禍にあってもこのように教育会事業を充実させることができたのは、各校の校長先生はじめ、代議員の先生方、そして全ての会員の皆様のご協力のお陰です。あらためて、この場をお借りして厚く御礼申し上げますと共に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。（要旨）

贈賞式・研修会

信濃教育会第25回教育研究論文教育実践賞グループの部、「特賞」伊那市立東部中学校研究チーム、「準特選」川島小学校研究部会、個人の部「準特選」箕輪中学校の藤井篤徳先生への贈賞式が行われました。式に引き続き3人の先生方からお話をお聞きし、研修をしました。

○テーマ「主体的に学ぼう」とする生徒や教師がいる学校づくり

～大規模校において、生徒や教師が自主・自立し、多様性を認める気風を創り上げた実践を通して～
伊那市立東部中学校 垣内 孝康 先生

東部中学校は、3年生を中心に生徒が学校の真ん中において、どの活動も生徒がやりたくてやっている、目指す物があってやっている、そんな学校である。どうして、そういった主体的でやわらかい学校になったのか、4年間の東部中のあゆみをまとめた。本校の気風作りは、まず「見える化」を大事にしてきたことである。そして、学び舎とつどい、学習スペースの設定により、学習する場は授業だけでなくいいという雰囲気が出た。また、生徒も教師も互いに学び合うOJTという職員研修を通して、職員同士で学び合う気風が生まれた。さらに、生徒会が主体となり学習委員会を立ち上げることで、自分たちの学びを自分たちで創り上げていこうという気持ちも生まれてきた。課題はまだあるが、今後も、その時に流れる風の流れを読み、生徒とともに歩いていく中学校をつくっていきたい。



特選 東部中 教科研究委員会
垣内孝康 先生



準特選 川島小研究部会
宮田祐輔 先生



準特選 箕輪中学校
藤井篤徳 先生

○テーマ 小規模校の利点を生かした体力向上の取り組み

～体育学習におけるバランス力を高める用具の教材化と日常生活での活用を通して～

辰野町立川島小学校 宮田 祐輔 先生

川島小学校は、小規模校で全校児童は11名。体育は全校で行うため技能の差や発達段階が課題になっていた。そこで、小規模校をメリットにした体力向上の取組について研究を進めてきた。主に行ったことの一つ目は、全校一人一人にバランスボールを渡し、教室や体育の授業で常にバランスボールに触れることができるという環境作りを行ったことである。二つ目は、子どもたちが興味を持ちそうな物を教材化し、楽しみながら体力向上ができるということを授業作りにかしたることである。記録として見える数値も向上したが、子どもたちが目を輝かせて体育の授業に向かう姿勢に成長を感じた。授業の中での課題の把握や振り返りの仕方など、課題も見られるので、今後よりよい授業作りをし、体力向上につなげていきたい。

○テーマ 学習者が主体となる説明的な文章の授業

～文章における筆者の工夫、対象に寄せる筆者の思いに着目して～

箕輪町立箕輪中学校 藤井 篤徳 先生

説明的な文章の授業は自信がなく、授業の手応えもないという課題を持っていた。ある説明文の単元で、筆者の研究の姿勢について自分の考えを文章にまとめる、という言語活動を中心に据えた単元を構想した。生徒の興味関心を喚起する導入、既習の内容を活用する場面の設定、ICT機器の利用や筆者の別の著書との比べ読みなどを行った。学習者が主体となることを願って、自分なりに、取り入れたり、工夫したりした中で最も有効だと感じたことは、対象によせる筆者の思いに着目したことである。生徒は、文章から事実や情報を読み取ることにとどまらず、文章に表れた筆者の意図や対象によせる思いに触れることができた。教材を通して筆者の生き方やあり方にせまる学びであり、人としての筆者の存在を意識した姿であったと思う。今後もさらに学習者が主体となる国語教師を目指して、自分自身が学びをとめず、教師としての歩みを一歩ずつ進めていきたい。

報 告

- (1) 信濃教育会第6回常任委員会 (書面にて報告)
- (2) 信濃教育会臨時総会 報告 (書面にて報告)

議 事

- (1) 第1号議案「令和4年度上伊那教育会事業計画(案)」の承認に関する件
会長から提案、各部長、事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。
- (2) 第2号議案「令和4年度上伊那教育会収支予算書(案)」の承認に関する件
会長から提案、事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。



原文章会長

(3) 第3号議案「令和4年度上伊那教育会資金調達及び設備投資の見込み(案)」の承認に関する件
事務局長から提案がありました。採決の結果、承認されました。

諸連絡

- | | |
|-----------------------------|--------|
| (1) 「令和3年度 研究調査部研究のまとめ」について | 【土橋常任】 |
| (2) 令和4年度教育会新規加入・リーフレットについて | 【原常任】 |
| (3) 令和4年度教育関係年間計画について | 【唐沢幹事】 |
| (4) 令和4年度教育会各種委員会推薦について | 【長坂幹事】 |
| (5) 令和4年度役員選挙について | |
| ○役員等候補選出委員の確認 | 【原会長】 |
| ○年度当初の選挙事務について | 【小池常任】 |
| (6) 令和4年度教科等教育研究会加入について | 【伊藤幹事】 |



浦山哲雄副会長 閉会の言葉

新型コロナウイルス感染症の対応や年度末のお忙しいところ、本年度最後の総会、ありがとうございました。

今年度、『改革・前進～「つながり、学び合い、自分を磨く」を続けるために～』のテーマのもと、コロナ禍ではありましたが、それぞれの事業を進めることができました。これも代議員の皆様のおかげであります。また、有賀大議長、松井建副議長には、総会をスムーズに運営していただきました。ありがとうございました。

今後、新型コロナウイルスの影響がどのようになるのか、来年度も見通せない状況もありますが、今年度同様にご協力いただきたいと思います。共に集い、学び続けるなかで、学び合う楽しさを感じられるような機会にしていきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。以上で第5回総会を閉会します。